



平成 26 年 5 月 27 日

各 位

会 社 名 北越紀州製紙株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 岸本 哲夫
(コード番号：3865 東証 1 部)
問合せ先 総務部広報担当部長 柳澤 誠
電 話 03-3245-4500

中期経営計画策定について

当社グループは、中期経営計画（2014 年度～2016 年度）を策定しましたのでお知らせいたします。

当社グループは、2011 年 4 月に長期ビジョン「Vision2020」を策定・公表し、その第 1 ステップである前中期経営計画「G-1st」に取り組んでまいりました。

この間、輸入紙の急増に伴う洋紙市況の下落や原燃料コストの高騰等、非常に厳しい市場環境下であり、収益的に苦戦する一方で、「G-1st」計画の基本方針に従い、国内既存事業の効率向上、洋紙輸出の拡大、中国における白板紙事業の展開、デュマ社の買収等の M&A の実施及び環境負荷低減への取り組み等に注力し、着実に持続的成長への基礎を固めてまいりました。

このような中、「Vision2020」に向けた第 2 ステップとなる新中期経営計画「C-next」を策定いたしました。

本計画の確実な遂行により、持続的な成長の実現を目指してまいります。

本計画の概要につきましては、別紙をご参照下さい。

以 上

北越紀州製紙グループ 中期経営計画の概要

長期ビジョン (2011年4月)

1. 名称

V i s i o n 2 0 2 0

2. 2020年に目標とする企業イメージ

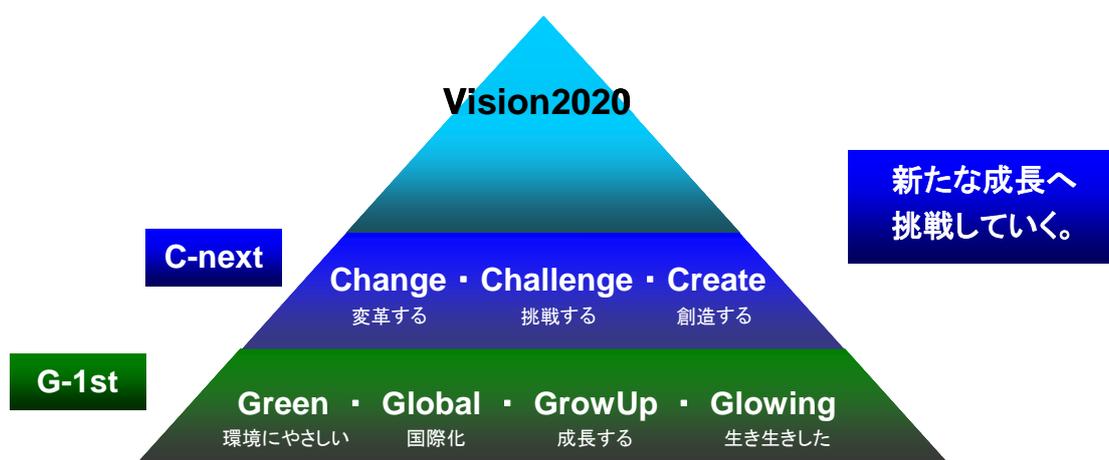
- 環境経営を推進し、あらゆる企業活動において環境を重視する企業
- 高い技術を有し、優れた品質とコスト競争力を持った魅力ある商品を提供する企業
- 着実な成長とあくなき挑戦を、情熱をもって続ける企業
- 売上規模： 3,000億円以上 (海外売上高比率： 25%)

中期経営計画

1. 計画名称

C-next (シー・ネクスト)

当社グループは、「Vision 2020」へ向けた第1ステップであった前中期経営計画「G-1st」における4つのG [Green (環境に優しい)・Global (国際化)・GrowUp (成長する)・Glowing (生き生きした)]をベースとして、第2ステップへと進む。この第2ステップは、新たな3つのC [Change・Challenge・Create] に光をあてたステージであり、このステージで当社グループは新しい歴史を刻む。



2. 計画期間

2014年(平成26年)4月1日～2017年(平成29年)3月31日(3年間)

3. 経営計画の基本方針と基本戦略

<基本方針>

収益基盤強化と環境への取り組みの深化を基本に、変化に対応した新規分野の創造及び事業構成の変革を進め、製紙企業としてさらなる成長に挑戦する。



<基本戦略>

◇収益基盤の強化

紙パルプ関連国内需要の将来的な動向を十分に認識したうえで、いかなる事業環境下においても安定した収益を実現できる体質への変革を果たす。

◇環境への取り組みの深化

環境への取り組みの基本方針である「ミニマム・インパクト」をより深化させ、それに基づく活動をより広く展開させていく。これらの活動を元にして生産された製品を、社会に対し積極的に提供することにより、社会的責任を果たす。

◇新規分野の創造及び事業構成の変革

中国・白板紙事業を即戦力化する。あわせて国内外の成長市場と新規分野への積極的な戦略投資を展開することにより、事業構成の変革を進めると同時に今後の成長を実現する。

4. 主要4事業の戦略

◇洋紙事業

当社グループの主力事業として、世界で戦える国内No.1の競争力を実現する。

◇白板紙事業

国内及び海外事業を確実に遂行することにより、次代の成長エンジンとする。

◇特殊紙事業

新商品・新規事業・新規市場への展開加速により世界市場を対象に規模拡大を実現する。

◇紙加工事業

成長の見込まれる包装分野を軸に、規模拡大を実現する。

5. 全社共通戦略

- ◆引き続き環境負荷の低減（ミニマム・インパクト）に取り組み、業界における環境トップランナーの地位を維持する。
- ◆ガバナンス及びコンプライアンス体制の維持・強化を図る。
- ◆今後の事業展開及びグローバル戦略に必要となる人材の育成・確保及び組織を整備する。
- ◆さらなる成長実現の手段としての積極的なM&Aを検討していく。

6. 経営数値目標

連結－2017年（平成29年）3月期

売上高	2,700億円
営業利益	135億円
売上高営業利益率	5%以上
EBITDA	330億円

以 上